

トピックス

1 地域で支えあい、誰もが安心と生きがいを持って暮らせるまちづくり

～青森県八戸市における成年後見制度利用促進の取組～

青森県八戸市は、人口減少及び少子高齢化が進行する中、専門職又は親族以外の後見人である市民後見人の養成を契機として、成年後見制度の活用及び市民後見の推進の中核機関となる成年後見センターを設置した。成年後見センターでは、権利擁護相談、市民後見の推進、ネットワークづくり及び普及啓発の業務を担っている。また、市民後見推進協議会を調査審議機関に位置づけ、成年後見制度の利用促進に向けた審議を行っている。さらに、市民後見人養成研修修了者の有志により「はちのへ市民後見人連絡会」が立ち上げられ、研修会や出前講座の開催、イベントの協力をすることで市民後見人の資質向上や成年後見制度の普及啓発に取り組んでいる。



(写真は、「市民後見推進協議会の様子」、「はちのへ市民後見人連絡会による啓発活動の様子」)

2 新しい就業・社会参加の形を目指して

～公益社団法人鹿児島市シルバー人材センターの取組～

鹿児島市シルバー人材センターでは、従来のシルバー人材センターにはなかった新しい就業・社会参加の形を開拓している。就業経験の少ない女性の参加拡大を図るため、特に女性をターゲットとしたシニアビューティーアップ講座や女性会員によるファッションショーを開催している。またワンコインで軽作業を請け負う「ワンコインまごころサービス」を地域包括支援センター等と連携して提供し、高齢者の安否確認の役割を担っている。さらに、イベントの企画や同好会活動により、地域のにぎわいをつくりだす一つの核のような存在となっている。



(写真は、「女性会員によるファッションショーの様子」、「ワンコインまごころサービス」)